

全小中学生の安否 携帯メールで確認

那須塩原市教委は、防災の日の9月1日、小中学生全員の安否を確認する実証実験をNPO法人「私達の子供達を育む会」(佐藤昭治理事長)の協力で行う。栗川仁同市長が18日、記者会見で明らかにした。同市内の小中学校で普及している携帯電話への一斉配信システムを活用する。市全体の小中学校でこうした取り組みをするのは全国でも珍しいという。

来月1日 那須塩原で実験

児童生徒が学校外にいる時間帯に安否確認をするのが目的で、午後7時から約1時間にわたって行う。同市教委が、安否についての返信を求めるメールを約8000人の保護者に送信する。受けた保護者はインターネットを通じて、学校や学年とクラス、名前と被害の有無、伝言を送信する。市教委は全体の被害状況を、各校は個人の被災状況を把握する。

同市内では2007年度から、黒磯中を中心に一斉配信システムによる緊急連絡網がスタート。現在は市内の全中学校と、約90%の小学校に普及しているという。